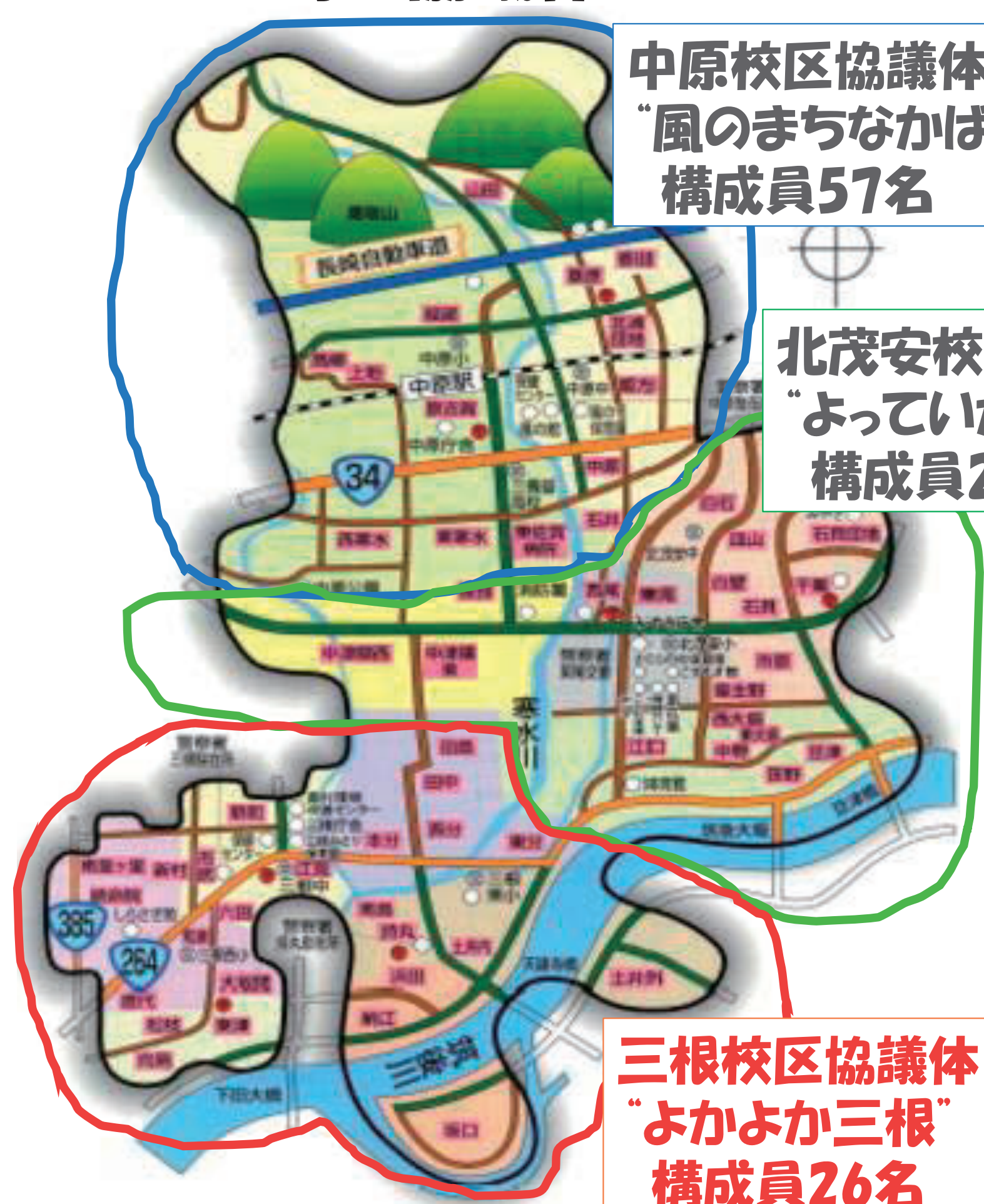


気軽に集える場所から始めよう！ 協議体の助け合い活動

気軽に集える場所から始めよう！を目指す地域像に、第2層協議体よかよか三根は「今困っている人を支えたい」生活支援と「将来困らないように元気でいたい」介護予防の2つの助け合い活動で地域を元気にしています。

気軽に集える場所から始めよう！ 協議体の助け合い活動

みやき町の協議体



H30年4月生活支援体制整備事業が始まり、第1層協議体が1つ、第2層協議体が3つ発足。第1層SC1名、第2層SC2名配置。

三根校区の“よかよか三根”は、「気軽に集える場所から始めよう」を目指す地域像。執行部の4人が中心となり協議を進め、**行政区単位での生活支援の仕組み**といきいき百歳体操を行う**介護予防の集いの場づくり**を行い、活動が始まった。

「よかよか」は同意、褒める、慰めるなど色々な状況で使う私たちになじみ深い言葉



協議の場自体も集いの場。いっぱい話をするために来てる

佐賀県 みやき町

みやき町の紹介

佐賀県の東部に位置し、北は筑紫山地、南は筑後平野に面している。
人口 25,760人 10,203世帯
高齢化率 34.28%
日常生活圏域 3 中学校校区
(R3年4月現在)

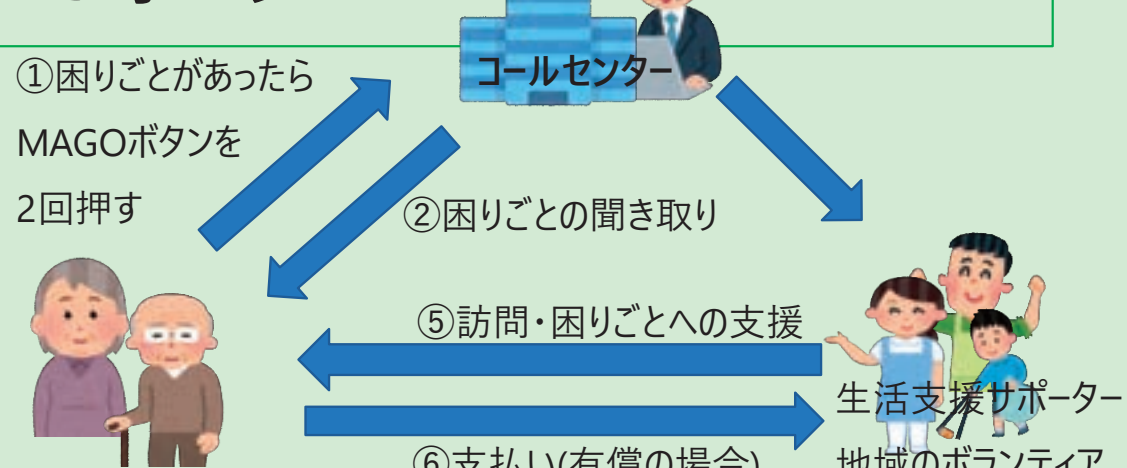


行政区単位の生活支援活動(R元年7月～)

※データは活動スタート時

* 内容 *

- ・主な支援内容
ごみだし、買い物の手伝い・電球交換・台風時の雨戸閉め・ストーブへの灯油補充・重い物の出し入れなど
- ・原則無償
(材料費等実費負担)
- ・受付窓口の一部を町が行っているMAGOボタンのコールセンターが担当



有償だと年金ぐらしの人は大変でしょ

よかよかボランティア・坂口

- ・高齢化率39.66%(校区4位)104世帯
- ・地区内に商店等の社会資源がない
- ・区全住民にニーズ調査を実施
- ・ボランティア登録者5名



よかよかボランティア・江見

- ・高齢化率47.64%(校区1位)80世帯
- ・地区を4班に分け班ごとに窓口担当者がいる
- ・決まったボランティアはいない。窓口の人が近隣住民、民生委員等に呼びかけ、できる人が対応

* 課題と今後の展開 *

- ・他の行政区へ活動を広げる事を目指しているが、コロナ禍で公民館での集まりを自粛する地区が多く進んでいない
- ・活動の周知
(活動中の2地区の住民でも知らない人がいる)
- ・独自の窓口づくり
(MAGOボタン設置が有料化)
- ・有償ボランティアの検討
(活動の幅が広がる・ボランティアの意欲向上)

介護予防の集いの場の運営(R2年6月～)

* 内容 *

- ・いきいき百歳体操の実施
- ・週1回活動
- ・参加費100円(現在未徴収)
- ・定員15名(10名が利用中)
- ・ボランティアグループ“みね百の会”17名が交代で運営

百歳体操で元気に百歳をめざそう

もも
みね百の会



高齢者が増えても、元気であればいい

体の健康は健診と介護予防で。心の健康は交流と活動で

交流の場で困りごとが把握できる

活動開始後、R2年度は、のべ168人が参加



* 課題と今後の展開 *

- ・コロナ禍で茶話会などの交流行事が十分にできない
- ・参加手段がない人からのニーズや買い物手段に困っている人がいるとの声がある



校区内の商業施設のホールを活用して買い物支援のある介護予防の集いの場づくりを計画中

“よかよか三根”はこれからも「よかよかといええやってみよう」の精神で気軽に集える集いの場から三根校区の支え合いの地域づくりに取り組んでいきます